

2020年4月23日

法学部新入生のみなさんへ

本学法学部へのご入学おめでとうございます。教職員一同、みなさんをお迎えすることができたことをうれしく思います。

さて、すでに多くのメディアにより報道がなされているように、コロナ・ウィルス（COVID-19）への感染症対策で、世界中に混乱が続いています。もちろん、日本も例外ではありません。

本学でも入学式の中止、授業開始時期の変更がありました。さらに、みなさんの大学での生活をサポートするための「新入生オリエンテーション」の開催も断念せざるを得ませんでした。また、本学は岡山県のみならず、県外からも多数の学生を受け入れております。みなさんのそしてこの社会に暮らす多くの人々の健康と生命を守るため、本学でも対策をはかる必要があります。そのため、5月からの講義もオンラインで行うこととなりました。

これほど大規模な講義のオンライン化は、本学では（また他の多くの大学でも）初めてのことです。新入生のみなさんも、大変不安を抱いていることでしょう。本学も、円滑な講義が行えるよう、教職員一同を挙げて、全力で準備を進めているところです。

みなさんの履修登録については、本来は上述した「新入生オリエンテーション」を行

い、みなさん各自に登録いただく予定でした。しかし、今回はそれができません。そこで、緊急的措置として、必修科目を中心としていくつかの科目を大学側で登録させていただいています。みなさんのお手元には「岡山商科大学講義案内」（講義案内システム）のご案内が届いていることと思います。同システムを通じて、履修登録済科目や教養演習担当教員の確認、追加の履修登録が可能です。また、各科目担当教員からみなさんへの連絡も、同システムの“講義掲示板”を通じて行われます（オンライン講義の運用試験・トライアルを始めている科目もあります）。みなさん、同システムにログインしてみてください。

また、大学からの情報は、Web ページ【**新入生のみなさんへ**】でもご案内しております。こちらも適宜更新が行われますので、ご注意ください。

<https://www.osu.ac.jp/news/3009>



みなさん、健康に気をつけ、自身が感染しないことまた他者に感染させないことに留意してどうかお過ごしください。みなさんに対面でお会いできる日を、私たちも心待ちにしています。

法学部長 宍戸圭介

【法学部法学科】前期の履修登録について

本学では、前期・後期の2学期制（セメスター）をとっており、それぞれ16単位以上24単位以下の範囲で科目を履修することになります。本来であれば自分で履修科目を登録してもらうこととなりますが、今年度の前期は重要な科目をあらかじめ登録しております。以下では、登録してある重要な科目を中心に、履修のしかたについて説明します。

1. 必修科目

1年次に履修する必要がある必修科目は「教養演習」・「健康教育実践」・「中級英語Ⅰ・Ⅱ」・「法律学入門」・「キャリア形成論Ⅰ」・「キャリア形成論Ⅲ（キャリア関連科目）」です。

（1）教養演習

1年次配当の演習（ゼミ）です。「演習」（ゼミ）は、少人数で学生による発表や学生同士による質問・議論・意見交換などを行う科目です。「教養演習」では、大学に入って間もない1年次生を対象に、大学で学ぶために必要な知識や能力を養っていきます。また、大学にはホームルームがありませんので、重要事項の伝達などを演習の時間に行うことがあります。

教養演習の単位取得は2年次から3年次に進級するための条件です。1年次に単位を取得できなかった場合は2年次に再履修する必要があります。

法学科全員：教養演習〔通年・木曜4限・各教員〕

* 今年度の教養演習担当教員は以下の7名です（敬称略：50音順）。自分がどこのクラスに属しているかは、講義案内システムをご確認ください。

おおたにたかまさ きくかわ あきら くきかずと くらもち ひろし しらい きとし にしうら いさお のむらしんじ
大谷崇正・菊川 顕・九鬼一人・倉持 弘・白井 諭・西浦 公・埜村紳二

（2）健康教育科目

卒業までに、健康教育科目を4単位以上履修する必要があります。まず、1年次に「健康教育実践」を履修することが望まれます（クラス指定）。

法学科男子001～552：健康教育実践〔前期・火曜2限・宇田〕

法学科男子553～994：健康教育実践〔後期・火曜2限・宇田〕

法学科女子：健康教育実践〔前期・月曜1限・小野（陽）〕

その他、講義科目として「健康教育論」があります。こちらは、2単位取得できる科目ですので、できるだけ履修をしてください。

法学科全員：健康教育論〔前期・木曜3限・岩橋〕

➤ 「スポーツ実践」は2年次以上配当科目です。

(3) 外国語科目

卒業までに外国語科目を4単位以上取得する必要があります。英語に関しては、1年次に「中級英語Ⅰ・Ⅱ」、2年次に「中級英語Ⅲ・Ⅳ」がクラス指定されています。学籍番号によって、科目と曜日・時限が異なっていますので、間違いのないよう履修してください。

法学科001～419	: 中級英語Ⅰ〔前期・火曜1限・中原〕 中級英語Ⅱ〔後期・火曜1限・バーデン〕
法学科424～782	: 中級英語Ⅰ〔後期・火曜1限・中原〕 中級英語Ⅱ〔前期・火曜1限・バーデン〕
法学科785～994	: 中級英語Ⅰ〔前期・木曜2限・中原〕 中級英語Ⅱ〔後期・木曜2限・バーデン〕

➤ 初級英語は1年次に履修できません。

英語以外の外国語を希望する場合は、別途、登録が必要です。英語以外の科目を履修する場合も同一言語のⅠとⅡの両方の単位を取得しなければならない点にご注意ください。

(4) 法律学入門

「法律学入門」は、法学部の共通必修科目です。はじめて法律を学ぶ1年次生を主たる対象として、法律の基礎を学びます。公務員コース・企業コースいずれに進むにしても、必ず単位を取得しなければなりません。

法学科全員: 法律学入門〔前期・水曜3限・倉持〕

(5) キャリア科目

本学では、キャリアに対する意識や就業力を学ぶ科目として、「キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を用意しています。卒業までに「キャリア形成論Ⅰ」・「キャリア形成論Ⅱ」・「キャリア形成論Ⅲ」の単位を取得する必要があります。このうち、「キャリア形成論Ⅰ」は1年次、「キャリア形成論Ⅱ」は2年次にクラス指定されています。

法学科全員: キャリア形成論Ⅰ〔後期・水曜1限・白井 & 小野(敏)〕

なお、2019年度入学生より、「キャリア形成論Ⅲ」に代わって「キャリア関連科目」を2単位履修することになりました。法学部の新生には、あらかじめ「人間形成論・職業形成論」又は「法を考える」をキャリア科目として登録していますが、その他の科目でも教養科目又は専門科目として履修することができます。ただし、キャリア関連科目として選択できるものは1つだけで、2つ以上選択してしまうと「余剰単位」(卒業単位に算入されない)として扱われてしまいますので、誤りがないよう履修登録をしてください(どちらを選択するかで科目コードが異なっています)。

人間形成論・職業形成論	〔前期・月曜4限・粟屋〕	キャリア	or	教養科目Ⅱ群
法を考える	〔前期・火曜4限・宍戸〕	キャリア	or	教養科目Ⅱ群
新聞を読む	〔前期・水曜4限・磯邊〕	キャリア	or	自由選択科目J群

岡山経営者論 I	[前期・月曜 4 限・陳]	キャリア or 自由選択科目 J 群
岡山経営者論 II	[後期・月曜 4 限・陳]	キャリア or 自由選択科目 J 群
現代ビジネス事情	[後期・木曜 3 限・香川]	キャリア or 自由選択科目 J 群

➤ 新入生は、あらかじめ次のとおりに登録しています。

法学科 001～517 : 人間形成論・職業形成論 [前期・月曜 4 限・栗屋] → 教養科目
法を考える [前期・火曜 4 限・宍戸] → キャリア

法学科 552～994 : 人間形成論・職業形成論 [前期・月曜 4 限・栗屋] → キャリア
人間生物学 I [前期・火曜 4 限・栗屋] → 教養科目

2. 教養科目・専門科目

法学部では、学生がそれぞれ希望する進路に従って学習できるよう、「公務員コース」と「企業コース」の2つを用意しています。所属コースは1年次の11月頃に、「基礎演習」(2年次配当演習)の申込と併せて選択することになっていますが、さしあたり1年次は「憲法」・「刑法」・「民法」を中心として、法律の基本となる科目を学習することが望まれます。

(1) 公務員コースを希望する場合

① 公務員コース選択必修科目(1年次配当)を登録

憲法 I [前期・月曜 2 限・西浦]、憲法 II [後期・月曜 2 限・西浦]
刑法 I [前期・金曜 2 限・加藤(摩)]、刑法 II [後期・金曜 2 限・加藤(摩)]
民法概説 [前期・金曜 1 限・倉持]

② 自由選択科目 I 群(1年次配当)から3科目程度選択

法と論理 I [前期・金曜 3 限・九鬼]、法と論理 II [後期・金曜 3 限・九鬼]
法と言語 I [前期・火曜 3 限・宍戸]、法と言語 II [後期・火曜 3 限・宍戸]
判例講読 [後期・火曜 4 限・白井]
(家族法 I [前期・火曜 3 限・吉岡]、家族法 II [後期・火曜 3 限・吉岡])
→ 家族法 I より法と言語 I・II を優先することが望ましい(義務ではない)。

➤ 法曹特別プログラム特別演習(「特別演習 II」は2年次前期に配当)
特別演習 I [後期・金曜 5 限・倉持]

(2) 企業コースを希望する場合

① 企業コース選択必修科目(1年次配当)を登録

憲法 I [前期・月曜 2 限・西浦]、憲法 II [後期・月曜 2 限・西浦]
民法概説 [前期・金曜 1 限・倉持]
(家族法 I [前期・火曜 3 限・吉岡]、家族法 II [後期・火曜 3 限・吉岡])
→ 家族法 I より法と言語 I・II を優先することが望ましい(義務ではない)。

② 自由選択科目 I 群(1年次配当)から3科目程度選択。

法と論理 I [前期・金曜 3 限・九鬼]、法と論理 II [後期・金曜 3 限・九鬼]
法と言語 I [前期・火曜 3 限・宍戸]、法と言語 II [後期・火曜 3 限・宍戸]
刑法 I [前期・金曜 2 限・加藤(摩)]、刑法 II [後期・金曜 2 限・加藤(摩)]
判例講読 [後期・火曜 4 限・白井]

➤ ただし、J 群から1～2科目選択する選択肢もあり。

(3) どちらのコースに進むか未定の場合

①両コース選択必修科目（1年次配当）を登録

憲法Ⅰ〔前期・月曜2限・西浦〕、憲法Ⅱ〔後期・月曜2限・西浦〕
民法概説〔前期・金曜1限・倉持〕

②自由選択科目Ⅰ群（1年次配当）から3科目程度選択

法と論理Ⅰ〔前期・金曜3限・九鬼〕、法と論理Ⅱ〔後期・金曜3限・九鬼〕
法と言語Ⅰ〔前期・火曜3限・宍戸〕、法と言語Ⅱ〔後期・火曜3限・宍戸〕
刑法Ⅰ〔前期・金曜2限・加藤（摩）〕、刑法Ⅱ〔後期・金曜2限・加藤（摩）〕
判例講読〔後期・火曜4限・白井〕
（家族法Ⅰ〔前期・火曜3限・吉岡〕、家族法Ⅱ〔後期・火曜3限・吉岡〕）
→家族法Ⅰより法と言語Ⅰ・Ⅱを優先することが望ましい（義務ではない）。

➤ ただし、専門科目を減らして先に教養科目を多く履修するという選択肢もあり。

* 今年度前期では、あらかじめ「憲法Ⅰ」・「民法概説」・「刑法Ⅰ」・「法と論理Ⅰ」・「法と言語Ⅰ」をweb上に登録してあります。その他、4～6単位分空きがありますので、余力のある方は教養科目から幾つか選択してください。

➤ 教養科目については、卒業までにⅠ群（歴史と社会）・Ⅱ群（文化とコミュニケーション）・Ⅲ群（自然と人間）から各2単位ずつ取得する必要があります（教養科目全体で30単位を取得）。

3. その他

* 基本的に履修科目は「講義案内システム」を使ってweb上で登録することになります。履修登録の方法は学生便覧の241頁以下に掲載されていますが、さしあたりは添付の「講義案内システムマニュアル」をご確認ください。

* 法学部法学科の開講科目や卒業要件は「科目配当表」（添付書類：学生便覧161頁以下）をご確認ください。また、授業の分類や卒業要件の詳細はYouTube上の動画をご参照ください。
➤ 法学部法学科ガイダンスビデオ「卒業への道」（URLを知っている者のみ限定公開）
<https://youtu.be/2LI7tXObvlg>（右側QRコード）

* 当面はオンラインで授業を開講します。前期開講に当たっての連絡事項等は本学ホームページ（<http://www.osu.ac.jp/news/3009>：左側QRコード）等をご確認ください。

* その他、ご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ先まで遠慮なくお申し出ください（教学委員：菊川 顕・白井 諭に転送されます）。
➤ 法学科お問い合わせ先 ho2222@po.osu.ac.jp

（本学ホームページ）

（法学部ガイダンスビデオ）

